

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月 7日更新

事務事業名	市長選挙事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康		所属部	選挙管理委員会	課長名	吉村幸一
	施策	1	市民参加によるまちづくりの推進		所属課	選挙管理委員会事務局	担当者名	西村直高、濱田祐史
	施策の柱	2	地域づくり(まちづくり)活動機会の確保		所属班	選挙管理委員会事務局	(内線)	1 2 2 3
予算科目	会計一般	款 2	項 4	目 3	事業連番 10341	根拠法令	公職選挙法 合志市公職選挙法令執行規定	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始				事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	令和4年4月1日に任期満了となる合志市長選挙の管理執行。 告示日に立候補の届出を受け付け、告示日の翌日より期日前投票所を6日間開設する。その他の投票制度に、滞在市町村での不在者投票、一定の障がいを持つ方のための郵便等による不在者投票、指定施設による不在者投票などを受付ける。期日前投票所は合志市役所、西合志図書館の2箇所、午前8時30分から午後8時まで実施する。当日投票所は市内20箇所、投票時間は午前7時から午後7時まで実施する(1時間の繰り上げ)。ただし、第2投票区(日向集会所)と第5投票区(恵楓園恵楓会館)は、2時間繰り上げて午後6時まで実施する。開票は、当日の午後8時10分から合志市総合体育館(ウィーブルメインアリーナ)で即日開票を行う予定。国、県の選挙とは違い立候補受付から当選者の決定、当選証書の付与まで、全ての執行管理を行う。
【業務の流れ】	①選挙管理委員会の開催、②投票日の決定、③投票所、開票所の指定、④ポスター掲示場設置、⑤資材、消耗品等の準備、⑥選挙人名簿の調製、⑦投票入場券作成と発送、⑧立候補予定者説明会の開催、⑨投票管理者・同職務代理人・投票立会人の選任、⑩投票・開票事務従事者の選任、⑪期日前投票事務従事者説明会、⑫啓発活動、⑬立候補届出の事前審査、⑭選挙公報用原稿の事前審査、⑮立候補の受付・選挙運動用表示等の配付、⑯期日前投票所の設置、⑰不在者投票、郵便による不在者投票の受付開始、⑱選挙公報の作成と配達、⑲選挙違反に対する注意・指導、⑳当日投票事務、開票事務従事者説明会の開催、㉑投票所、開票所の設置、㉒交付機・計数機等の点検、㉓当日投票事務、㉔選挙会(開票)、㉕県選管へ結果報告、㉖当選証書の付与、㉗選挙公営となる選挙運動費用の申請と支払い、㉘選挙運動収支報告の公表
【主な予算費目】	・報酬、職員手当等、賃金、報償費、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	候補者の選挙運動(選挙カー)がうるさいとの苦情や事前運動や戸別訪問などの選挙運動に関する苦情が寄せられた。また、投票所のバリアフリーに関する要望が寄せられた。期日前投票所を2箇所(合志市役所、西合志図書館)で実施しているが、南部地区でも実施してほしいとの意見も出ている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	本年度選挙執行なし(次は令和4年3月に執行される予定)	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		次年度選挙執行なし。(任期満了令和4年4月1日)
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)人	予算の主な増減の理由
→ア: 候補者数		予算計上がないため増減なし
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市長選挙事業		(単位)人
		→ア: 当日有権者数
		→イ: 投票者数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
選挙が適正に執行される。		(単位)件
		→ア: 選挙の管理執行において問題となった件数
		→イ:
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
選挙は公平・公正に選挙人にわかりやすく執行させることが求められている。問題が無いように執行させることが求められている。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	29年度実績(決算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	31年度実績(決算)	2年度目標(当初予算)	3年度予定	4年度見込	5年度見込	
① 活動指標	ア	人	1	0	0	0	0	3	0	0	
	イ										
② 対象指標	ア	人	0	0	0	0	0	49,600	0	0	
	イ	人	0	0	0	0	0	29,760	0	0	
③ 成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ										
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	3,355					21,395		
	人 件 費	(A) 事業費計	千円	3,355	0	0	0	0	21,395	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	4,865	0	0	0	0	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	8,220	0	0	0	0	21,395	0	0		

事務事業名	市長選挙事業	所属部	選挙管理委員会	所属課	選挙管理委員会事務局
-------	--------	-----	---------	-----	------------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した 選挙執行なし (令和4年3月執行予定)	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果としては、向上させるというより、管理執行上の問題が無いように行うことが求められており、現状を維持できるように確認及び周知徹底を行う。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事務手順の見直しにより効率化を図り、従事者の削減、開票時間の短縮が望める。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 選挙準備・執行の効率化を図り、常に必要最小限の人員配置になるよう検討する。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公職選挙法に基づき、すべての有権者に対し執行する選挙であり、受益機会は適正であり、受益負担の考え方はなじまない
	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 公職選挙法に基づき、すべての有権者に対し執行する選挙である。受益機会は適正であり、費用負担の考え方はなじまない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

選挙執行なし (令和4年3月選挙執行予定)

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持	○																			
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 システム等を導入することにより、人員削減によるコスト削減に繋がるが、経験者が減少することで、効率性が低下する恐れがある。従事者の人数と人選のバランスを保つ必要がある。																					